

「小児在宅歯科医療の実践と今後の展望～地域で医療的ケア児を支えるために～」

医療法人純康会 徳地 歯科医院
理事・副院長 和田智仁

医療的ケア児の支援が地域で求められるなか、在宅環境での歯科医療の重要性は確実に高まっている。

しかし現状では小児の在宅診療に対応できる歯科医師は依然として少なく、地域差も大きい。その背景には、診療環境の制約、専門的知識・経験の不足、報酬制度・移動負担といった構造的課題が存在する。

また、他職種や家族の間でも歯科医療が医療的ケア児の健康維持に寄与するということが十分に理解されていないという課題もみられる。医療的ケア児にとって、口腔機能の発達支援、摂食嚥下支援、誤嚥性肺炎の予防、口腔衛生管理、栄養管理など歯科医療が果たす役割は極めて大きい。小児在宅歯科医療を行う歯科医師が不足する現状の課題を踏まえながら、当院と連携する大阪大学歯学部附属病院顎口腔機能治療部、京都府歯科医師会との連携も含め、在宅で生活する小児、とくに医療的ケア児に対して当院が実践した10年を具体的事例とともに提示する。歯科疾患の予防や治療は目的ではなく手段であり、医療的ケア児の予後改善、QOL改善が歯科が在宅チームの一員として関わる本来の目的である。訪問環境での安全管理、診療の進め方、摂食嚥下アプローチ、家族支援など現場で役立つ実践的な視点を整理する。本講演を通じて、歯科医師が在宅医療に参画する意義を再確認し地域の医療的ケア児を支える体制づくりにおける歯科医療の位置づけと、実践に向けた具体的な一歩を示すことを目的とする。

和田 智仁
Tomohito Wada



【学歴】

1998 年 愛知学院大学歯学部卒業

【職歴】

1998 年 医療法人純康会 徳地歯科医院

2012 年 京都府歯科医師会地域保健部

2014 年 医療法人純康会 徳地歯科医院 副院長・理事

2018 年～2022 年 京都歯科サービスセンター中央診療所（障害者歯科センター）

2021 年～京都府歯科医師会地域保健部口腔サポート事業プロジェクトチームサブリーダー

【所属学会・団体】

日本障害者歯科学会（認定医）

日本摂食嚥下リハビリテーション学会

日本老年歯科学会

日本栄養臨床学会

小児在宅歯科医療研究会 世話人

臨床研修指導医

京都歯科医療技術専門学校 衛生歯科非常勤講師

京滋摂食嚥下を考える会 代表世話人

NPO 法人 Life is Beautiful 副理事